

新シーズンの幕開けをベートーヴェンの傑作と、レジェンドとともに

# 進化と深化

4/18 2025 [金] 開演 18:45  
開場 18:00

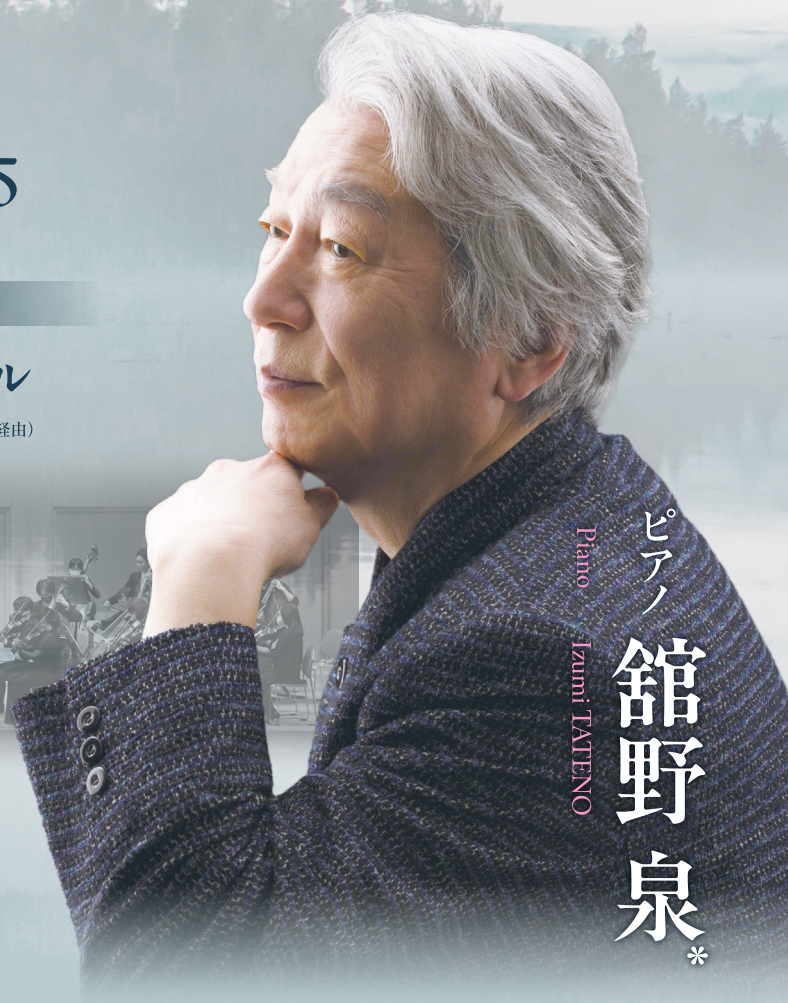
April 18th, 2025 Friday 6:45pm

愛知県芸術劇場コンサートホール

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)



指揮  
山下一史  
Conductor Kazufumi YAMASHITA



ピアノ  
館野泉  
Izumi TATENENO\*

ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 Op. 21  
Ludwig van Beethoven/Symphony No. 1 in C Major, Op. 21

エスカンデ 左手のためのピアノ協奏曲  
“アンティポダス”  
Pablo Escande/ANTIPODAS-Fantasia Concertante-

ベートーヴェン 交響曲第7番イ長調 Op. 92  
Ludwig van Beethoven/Symphony No. 7 in A Major, Op. 92

●公演についてのお問い合わせ

愛知室内オーケストラ TEL:052-211-9895(平日10時~17時/土日祝休業)  
<https://ac-orchestra.com>

◎主催:一般社団法人愛知室内オーケストラ

◎後援:愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会

## ドイツ・ロマン派作品と現代作品で幕を開ける新シーズン

オーケストラのバイブルともいえるベートーヴェンで2025シーズンが始まります。

ベートーヴェンが革新的な手法を用いて、新たな世界に挑んだ交響曲第1番。まさに私たちがこれから臨むシーズンを象徴するかのようなスタートです。そしてソリストには、レジェンド館野泉さんをお迎えします。“左手のピアニスト”として活躍し続ける館野さんとの音楽が、今から楽しみでなりません。そしてメインは、ベートーヴェンの交響曲第7番。リズムが特徴的なこの傑作は、ワーグナーが「舞踏の聖化」と評し、初演当時の聴衆が熱狂したことでも有名です。

新シーズンのキーワードは『レパートリーの深化』。ご期待ください!

山下一史

指揮／山下一史  
音楽監督Conductor  
Kazufumi  
YAMASHITA

ピアノ／館野泉

Piano  
Izumi  
TATENO

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務めた。ベルリン・フィルの演奏会で急病のカラヤンの代役として、急遽ジーンズ姿のまま「第9」を指揮、話題となる。その後ヘルシンボリ響(スウェーデン)首席客演指揮者に就任。日本国内では1988年N響を指揮してデビュー、アンサンブル金沢プリンスパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者、仙台フィル指揮者および同団正指揮者などを歴任。また、シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演を行うなど、オペラ、オーケストラの両面でますます注目を浴びている。現在、愛知室内オーケストラ音楽監督、千葉交響楽団音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者。また、東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。

クラシック界のレジェンド、88歳ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“館野泉の左手”のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲を超える。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよんだ。2023年には米寿記念演奏会を、東京、大阪、札幌、福岡ほか全国各地で行った。なお2025年は、数え年90歳を祝う卒寿記念演奏会を予定している。もはや「左手」のこだわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。公式HP <https://www.izumi-tateno.com/>



## 愛知室内オーケストラ

Aichi Chamber Orchestra

2002年、愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。定期演奏会をはじめ、こども向けファミリーコンサートや学校でのアウトリーチ公演など積極的な活動をしている。2015年から6年間新田ユリが常任指揮者を務め、2022年4月に山下一史が初代音楽監督、2023年4月に権代敦彦が初代コンポーザー・イン・レジデンス、2024年4月に原田慶太楼が首席客演指揮者兼アーティストリック・パートナーに就任。同年8月にはピアニスト・横山幸雄をフレンド・オブ・ACOに迎えた。2016年度名古屋芸術奨励賞、2023年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。

【全席指定】1月24日(金)10:00発売

ACO会員先行販売期間 1月20日(月)10:00~22日(水)

	1回券	U25券	小中学生券
SS席	¥8,000	—	—
S席	¥6,000	¥3,000	¥500
A席	¥4,000	¥2,000	¥500
B席	¥3,000	¥1,500	¥500
C席	¥2,000	¥1,000	¥500

## プレイガイド

◎愛知芸術文化センタープレイガイド TEL:052-972-0430

◎アイ・チケット TEL:0570-00-5310 [clanago.com/i-ticket](https://clanago.com/i-ticket)◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード:288-130公式HP  
(座席指定可能)

※U25券、小中学生券はACO公式ホームページ、愛知芸術文化センタープレイガイドのみの取り扱い。  
※U25券は公演当日要身分証明書。 ※未就学のお子様のご入場はご遠慮下さい。  
※やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。  
※一度ご購入いただいたチケットの払い戻しはできませんので、予めご了承ください。